

上町町内会「ふれあいと安心の街づくり事業」

平成23年度 実施状況

上町町内会では、主に「空き家対策」と「ふれあい庭先訪問」の二つの取り組みを通じ、ふれあいと安心の街づくりをめざして、事業を実施しました。

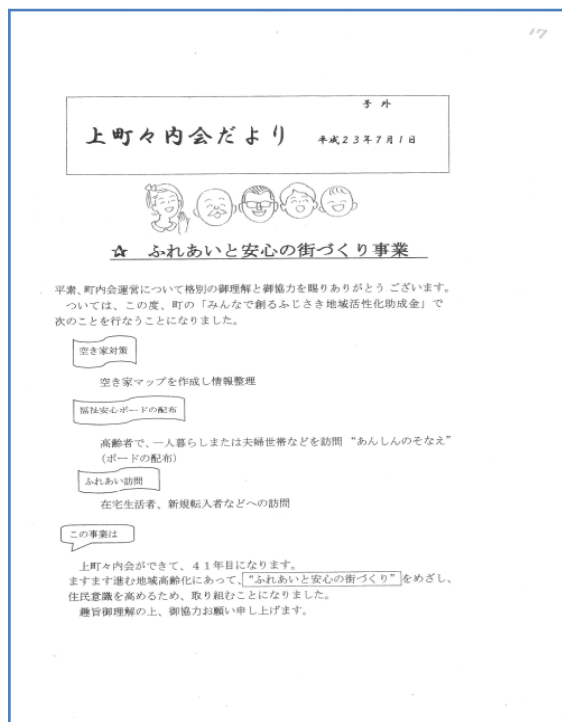
1. 事業の実施経過及び内容

時期	実施項目	内容
6月25日	・住民に対する事業説明	花壇の草取りに集まった第1班、第2班の皆さんに事業の内容を説明した。
7月1日	・名入れ手拭・チラシを配布	班長が各戸を訪問し、事業名を記した手拭いとチラシを配布して、協力をお願いした。
7月4日 ～9月1日	・空き家の調査	地域にある空き家について、改めて存在を調査した。確認された空き家については、その所在位置を住宅地図へと落とし込みした。また、それぞれの所有や管理状況についての確認もおこなった。 これにより、地域の防犯防災対策の向上が図られた。
7月23日	・住民に対する事業説明	花壇の草取りに集まった第3班、第4班の皆さんに事業の内容を説明した。
8月25日	・ふれあい庭先訪問 ・福祉安心ボードの配布	高齢者の一人暮らし世帯、高齢者の夫婦世帯、日中高齢者のみとなる世帯(計21世帯)を対象に、町内会の三役が訪問した。 当事業で作成した福祉安心ボード「あんしんのそなえ」を各戸に配布した。
11月27日 28日	・ふれあい庭先訪問	上町内会への新規転入者宅(3件)を訪問。
12月10日	・ストレッチお楽しみ会	「あんしんのそなえ」を配布した世帯を対象に開催(参加者16人)。 当日は、地区担当民生委員の高木江子さんと、ほのぼの協力員の指導・協力により実施した。 参加した皆さんが、ストレッチで体をほぐした後、昼食会で親睦を深めた。
12月14日	・ふれあい庭先訪問	地域の長老宅など(2件)を訪問。

※地域にある空き家及び高齢者単独世帯に関する確認地図等の成果物については、プライバシー保護及び防犯上の観点から、ここでは公開いたしません。

2. 事業実施状況（写真）

■名入れ手拭・チラシの配布



事業の名称を入れた手拭いと、チラシを配布して地域住民に事業を広報し、協力をお願いしました。

■高齢者世帯に配布した福祉安心ボード「あんしんのそなえ」



ホワイトボードに、緊急連絡先記入欄と小物入れ袋を付け、アレンジフラワーで彩りを添えて作成しました。

■ストレッチお楽しみ会



高齢者単独世帯の皆さんを招いて開催しました。ストレッチ体操で体を動かした後、昼食会では食卓を囲んで懇談をしました。

3. 事業の効果及び今後の課題

ふれあい庭先訪問を行うことで、住民がもっている福祉や厚生に関するニーズを把握することができました。今後は、それらを町内会の実践活動に活かしていきます。

また、今回は「空き家」の状況把握に努め、地域の防犯防災対策を講じましたが、引き続き「空き地」についても調査していく必要があると感じています。

こうした取り組みを、近隣の町内会にもひろげていきたいと思っています。